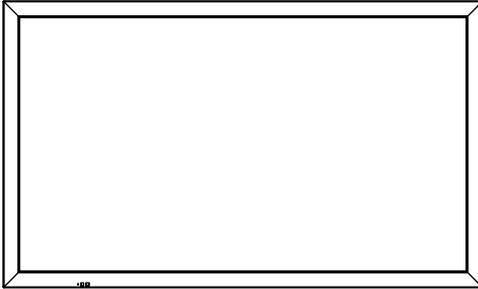


## 取扱説明書 基本ガイド

タッチスクリーン液晶ディスプレイ 業務用

品番 **TH-80BF1J** (80V 型)  
**TH-65BF1J** (65V 型)  
**TH-50BF1J** (50V 型)



### もくじ

安全上のご注意	2
使用上のお願い	7
付属品の確認	11
別売オプション	13
リモコンの電池の入れかた	13
ペン立ての取り付け	14
接続	16
各部の基本説明	21
基本の操作	24
保証とアフターサービス	26
仕様	27
ソフトウェアライセンス	29
商標について	30

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、  
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(2～6ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-80BF1J(80V型)、TH-65BF1J(65V型)、TH-50BF1J(50V型) 共用です。
- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- この取扱説明書の説明イラストは、主に TH-50BF1J(50V型)を元に作成しています。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。
- お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

# HDMI

DPQX1030ZB/X1

# 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



## 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



## 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。

## 警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がる
- 映像や音声がでないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを  
抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■故障した本機には手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

■異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



- 火災・感電の原因となります。
- 特にお子様にはご注意ください。

# 警告

## 電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など)



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

# 安全上のご注意 必ずお守りください

## 警告

### ■設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 指定の別売据置きスタンドをご使用ください。(P.13 ページ)
- 落下防止の為、液晶ディスプレイと壁掛け金具の重量に十分耐える様、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

### ■ベン立て固定用のねじ、およびワッシャー(80V型のみ)は乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

### ■雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



感電の原因となります。

#### 接触禁止

### ■上に水などの液体の入った容器を置かないでください

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)



水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

#### 水ぬれ禁止

### ■ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

#### 水ぬれ禁止

### ■風呂場、シャワー室などでは使用しないでください



火災・感電の原因となります。

#### 水場使用禁止

### ■不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

### ■振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

### ■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください



#### 分解禁止



#### 感電のおそれあり

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあげないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

#### 「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

## 注意

- 本機の通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- 逆さまにしないでください
- あお向けにしないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。  
( 7 ページ)

- 上に物を置かないでください



倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

- 本機や据置きスタンドに乗ったり、ぶらさがったりしないでください



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。  
● 特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください



コードを引っばると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源プラグや機器の接続線、転倒防止具を外してください。



コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされますと、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を入れるときには、極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。挿入指示通り正しく入れてください。( 13 ページ)

- 長時間使わないときは、リモコンから電池を取り出してください



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 強い力や衝撃を加えないでください



前面パネルが割れてけがの原因となることがあります。

- 長期間で使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

- 開梱や持ち運びは次の人数で行ってください  
80V型：4人以上／65V型：4人以上／50V型：2人以上



落下してけがの原因になることがあります。

## ⚠ 注意

- 据置きスタンド（別売）をご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください



地震やお子様によじ登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

- 据置きスタンドの説明書をよくお読みのうえ、必ず転倒防止の処置をしてください。

- 本機を縦置きに設置されるときは、必ず電源ランプを上側にして設置してください



電源ランプ



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルを引っぱったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

### お手入れについて

- 1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源プラグを  
抜く

# 使用上のお願い

## ■ 設置される時

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

**屋外に設置しないでください。**

- 本機は室内でご使用ください。

**機器相互の干渉に注意してください。**

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけて設置してください。

**機器の接続は電源を「切」にして行ってください。**

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

**振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。**

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。  
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

**本機の質量に耐えられる場所に設置してください。**

- 据置きスタンドをご使用のときは、指定の設置金具をご使用ください。

**高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。**

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

**海拔 2800 m 以上の場所に設置しないでください。**

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

**直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。**

- キャビネットの変形や故障の原因となります。

本機の使用環境温度は、**海拔 1400 m 未満**で使用する場合は、**0℃～40℃**、**高地（海拔 1400 m 以上～2800 m 未満）**で使用する場合は、**0℃～35℃**です。

**本機を移動される時。**

- 前面パネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

**直射日光にさらされるような場所に設置しないでください。**

- 直射日光が当たると液晶パネルに悪影響を与える場合があります。

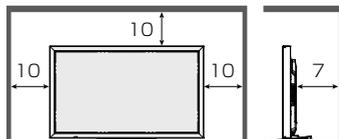
**塩害や腐食性ガスが発生する場所の近くには設置しないでください。**

- 腐食により部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

**設置時の空間距離について**

- 据置きスタンドをご使用のときは、上面・左右は 10 cm 以上、後面は 7 cm 以上の間隔をおいて据えつけてください。また、本機下面と床面との空間をふさがらないでください。その他の取り付けかた（壁掛けなど）でご使用のときは、対応する施工説明書に従ってください。（施工説明書に寸法の記載がない場合は、上下・左右は 10 cm 以上、後面は 7 cm 以上の間隔をおいて据えつけてください。）

**最低空間距離：**



## ■ ご使用になる時

**本機は残像が発生することがあります。**

- 静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがあります。残像は通常の動画をしばらく表示すると軽減されます。

**画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。**

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

**使用される温度・湿度条件によっては明るさのムラが発生することがありますが、故障ではありません。**

- 連続通電でムラは消えていきます。消えない場合は、販売店にご相談ください。

**前面パネル表面について**

- 前面パネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。傷や汚れがつかないように取り扱いにご注意ください。

**適度の音量で隣近所への配慮を**

- 特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

**液晶ディスプレイ本体の一部が熱くなることがあります。**

- 前面パネル、天面、背面の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

# 使用上のお願い

## 長時間で使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- リモコンで電源を切った場合は約 0.5W、本体の電源ボタンで電源を切った場合は約 0.3W の電力を消費します。

ご覧になっている映像端子以外の入力端子に接続されているケーブルを抜き差ししたり、映像機器の電源を「切」「入」すると映像が乱れることがあります。故障ではありません。

## ■ 有線LAN/無線LANについて

ディスプレイの無線 LAN 接続機能使用時は、2.4 GHz/5 GHz 帯域の電波を使用します。無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容を十分理解してご使用ください。

### ほかの無線機器の近くで使用しないでください。

- 下記の機器は、ディスプレイと同じ帯域の電波を使用している可能性があります。これらの近くでディスプレイを使用すると、電波の干渉により通信できなくなったり、通信速度が遅くなったりする場合があります。
- 電子レンジなど
  - ・産業・科学・医療用機器など
  - ・工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局
  - ・特定小電力無線局

### ディスプレイの近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

- 携帯電話・テレビ・ラジオなどは、ディスプレイと違う帯域の電波を使用しておりますので、無線 LAN の通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、ディスプレイからの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

### 鉄筋・金属・コンクリートなどは、無線 LAN 通信の電波を通しません。

- 木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできませんが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

### 静電気が多く発生するような場所でのディスプレイの使用は、できるだけしないでください。

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でディスプレイを使用する場合、無線 LAN または有線 LAN での通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、無線 LAN または有線 LAN 接続をしてください。

- まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

### 放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で DIGITAL LINK/LAN 端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の放射を停止し、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための措置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック システムお客様相談センター

電話 0120-878-410

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付：9時～17時30分

（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは

<https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

## 国外での取り扱いについて

- ディスプレイは、お買い求めの国または地域からの持ち出しが禁止されていますので、お買い求めの国または地域でのみ使用してください。また、無線 LAN を使用できるチャンネルや周波数は国や地域により制限があります。

## 使用できる無線 LAN のチャンネルについて

- 国または地域、無線 LAN 接続方法によって、使用できるチャンネル(周波数範囲)が異なります。次の表を参照してください。

### ミラーリング接続時

規格	使用チャンネル	周波数帯域 (中心周波数)
ARIB STD-T66 IEEE802.11b/g/n	1 ~ 11 チャンネル	2412 MHz ~ 2462 MHz
IEEE802.11a/n	36/40/44/48 チャンネル (W52)	5180 MHz ~ 5240 MHz

### Panasonic APPLICATION の「M-DIRECT」で接続時

規格	使用チャンネル	周波数帯域 (中心周波数)
ARIB STD-T66 IEEE802.11b/g/n	1 ~ 13 チャンネル	2412 MHz ~ 2472 MHz
IEEE802.11a/n	36/40/44/48 チャンネル (W52)	5180 MHz ~ 5240 MHz

### Panasonic APPLICATION の「USER1」/ 「USER2」/「USER3」で接続時

規格	使用チャンネル	周波数帯域 (中心周波数)	スキャン 方式
ARIB STD-T66 IEEE802.11b/g/n	1 ~ 13 チャンネル	2412 MHz ~ 2472 MHz	アクティブ スキャン
IEEE802.11a/n	36/40/44/48 チャンネル (W52)	5180 MHz ~ 5240 MHz	アクティブ スキャン
	52/56/60/64 チャンネル (W53)	5280 MHz ~ 5320 MHz	
	100/104/108/112/ 116/120/124/128/ 132/136/140 チャン ネル (W56)	5500 MHz ~ 5700 MHz	パッシブ スキャン

## IEEE802.11a/n(5.2 GHz/5.3 GHz帯)は、 屋内で使用してください

- 5.2 GHz/5.3 GHz 帯 (W52/W53) を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。
- 5.5 GHz ~ 5.7GHz の周波数帯域 (W56) の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

**2.4DS/OF4**

本機は、2.4 GHz 帯を使用する、DS-SS および OFDM 変調方式の無線機器です。中心周波数に 2 412 ~ 2 472 MHz (CH1 ~ CH13) を使用し、想定干渉距離は 40 m です。



本機には、日本の電波法に基づく技術基準に適合し認証済みの無線モジュールが搭載されています。

## ■ セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

### セキュリティ対策を十分に行ってください。

- LAN 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。  
「工場出荷時の設定に戻すには」  
([こちら](#)「ディスプレイ編」99 ページ)

### 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

- 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューター等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
  - ・ 通信内容を盗み見られる  
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
  - ・ 不正に侵入される  
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

# 使用上のお願い

- 本来、無線 LAN アダプタや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
- 無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。セキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定を、各々の無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。本機を無線 LAN で使用する際のセキュリティ設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

## ■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。キャビネットや前面パネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく

- ひどい汚れや前面パネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 前面パネルの表面に付属のペンの素材などが付着した場合は、濡らした布で拭いてください。付属のペン以外を使用し深い傷が付いた場合、拭いても取れないことがありますのでご注意ください。
- 水滴が内部に入ると故障の原因になります。

### お知らせ

- 前面パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。
- 赤外線透過部の汚れは柔らかい布でふき取ってください。1 日 1 回は、赤外線透過部の汚れを柔らかい布でふき取ってください。赤外線透過部の汚れが原因で不具合が発生した場合は、軽くふき取るだけで機能は回復します。ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

## 化学ぞうきんのご使用について

- 前面パネルの表面には使用しないでください。
- キャビネットにご使用の際はその注意書きに従ってください。

## 殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- キャビネットの変質や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。

## ■ タッチパネルについて

本機は光学式タッチパネルを搭載しています。下記の事項をお守りください。

### 直射日光の当たる所や強力な光源に近い所で使用しないでください。

- 本機は赤外線を使った光学式タッチパネルですので、影響を受け誤作動の原因となります。

### 本機の電源を入れてから映像が表示されるまで、赤外線透過部および画面にふれないでください。

- 素子不良として検出され、正常に動作しなくなります。その場合は本機の電源を入れなおしてください。



タッチパネルの操作には必ず指先か付属のペンをご使用ください。爪やボールペン、鉛筆など、硬いものや先が尖ったもので操作しないでください。

赤外線を使用した他の機器をご使用の場合は、誤動作しないよう離れた所で使用ください。

## ■ 廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

# 付属品の確認

付属品が入っていることをご確認ください。( ) は個数です。

電源コード (1)  
TXFMX011DGJ



リモコン (1)  
N2QAYB000691



単 3 形乾電池 (2)  
(リモコン用)



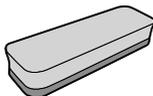
クランパー (2)  
TMME289



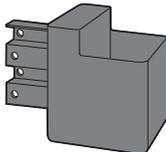
ペン  
(80V 型 : 4 本  
65V 型 / 50V 型 : 2 本)  
TKR5ZA45001



黒板消し (1)  
TKK5ZH50031



ペン立て (1)  
TKK5ZA50021  
📄 14 ページ



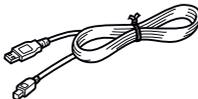
ワッシャー (2)  
(80V 型のみ)  
TMM5ZX010  
📄 15 ページ



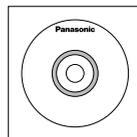
ねじ (2)  
80V 型 : XYN4+F12FJK  
65V 型 / 50V 型 : XYN4+F8FJK  
📄 14 ページ



USB ケーブル (1)  
K1HY05YY0189



ソフトウェア CD-ROM (1)  
DPQC1003ZA/X1



## お願い

- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。  
(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

# 付属品の確認

## CD-ROMの内容について

付属品の CD-ROM には、以下の内容が収録されています。

説明書 (PDF)	取扱説明書 ディスプレイ編	
	取扱説明書 ネットワーク操作編	
	ワイヤレスマネージャー ME 取扱説明書	
	ソフトウェアライセンス文	GNU GENERAL PUBLIC LICENSE GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
ソフトウェア	ホワイトボードソフトウェア (Windows)	ディスプレイをホワイトボードとして使用できるソフトウェアです。 パソコンにインストールすることなく、外部メモリーから直接起動できます。
	ワイヤレスマネージャー ME (Windows/Mac)	パソコンの画面をワイヤレス/有線 LAN 送信するためのソフトウェアです。 入力を Panasonic APPLICATION に切り換えて使用します。詳しい操作方法はワイヤレスマネージャー ME の取扱説明書をご覧ください。

# 別売オプション

別売オプションの設置金具は、しっかり取り付けてください。(取り付けは専門の業者にご依頼ください。)

- 据え置きスタンド：TY-ST42P50 (50V 型用)<sup>\*1</sup><sup>\*2</sup>  
TY-ST65P20 (80V/65V 型用)
- ディスプレイ用移動式スタンド：  
TY-ST50PB2 (50V 型用)  
TY-ST65PB2 (65V 型用)  
TY-ST80LF70 (80V 型用)
- 壁掛け金具 垂直取付型：TY-WK42PV20 (50V 型用)  
TY-WK70PV50 (80V 型用)<sup>\*2</sup>
- 壁掛け金具 角度可変型：TY-WK42PR20 (50V 型用)  
TY-WK65PR20 (65V 型用)
- 天吊り金具：TY-CE42PS20 (50V 型用)
- デュアルビデオ端子 (BNC) ボード：TY-FB9BD<sup>\*2</sup>
- DVI-D 端子ボード：TY-FB11DD
- Dual Link HD-SDI 端子ボード：TY-FB11DHD
- HD-SDI 端子ボード：TY-FB9HD
- HD-SDI 端子ボード (音声対応)：TY-FB10HD
- デュアル HDMI 端子ボード：TY-FB10HMD<sup>\*2</sup>
- デジタルインターフェースボックス：ET-YFB100
- デジタルリンクスイッチャー：ET-YFB200
  - ・本機は、ET-YFB200 のロングリーチの通信方式には対応していません。
- イージーワイヤレススティック：ET-UW100
- 予兆監視ソフトウェア：ET-SWA100 シリーズ<sup>\*3</sup>

<sup>\*2</sup> 生産終了品

<sup>\*3</sup> ライセンスの種類によって品番末尾の記号が異なります。

## お願い

- 取り付けるときは別売オプションに同梱の説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- 設置は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 据置きスタンドの説明書をよくお読みのうえ、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 当社製以外のスタンド、壁掛け金具または天吊り金具の使用、ならびにスタンド、壁掛け金具または天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- 設置時、衝撃などによる「前面パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 端子ボードをご使用のときは同梱の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 別売オプション品の品番は、予告なく変更する場合があります。

<sup>\*1</sup> TY-ST42P50 ご使用時のお願い (50V 型用)

スタンドポールは「プラズマディスプレイ用 (長い)」（品番：TBLA3679、TBLA3680）をご使用ください。

# リモコンの電池の入れかた



## お願い

- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
- また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

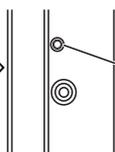
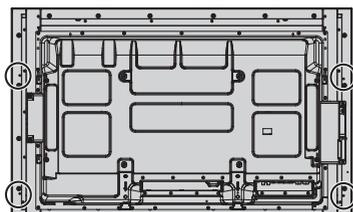
# ペン立ての取り付け

## 50V 型および 65V 型

### ペン立ての取り付け位置

#### 50V 型

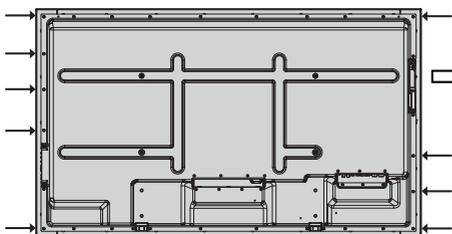
付属のペン立ては本体後面にある専用のねじ穴 4 ヶ所に取り付けることができます。



丸印でマーキングされています。

#### 65V 型

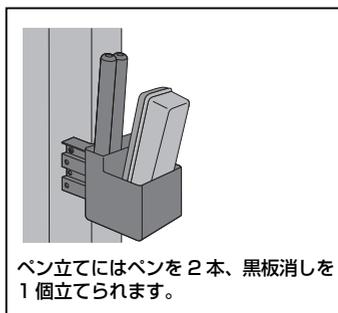
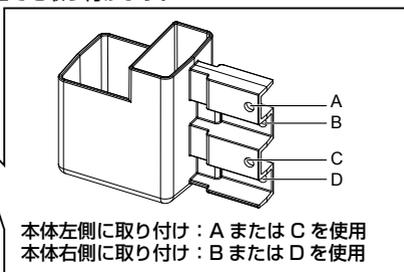
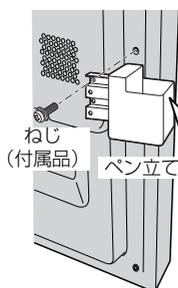
付属のペン立ては本体後面の 9 ヶ所に取り付けることができます。  
バックカバーを固定しているねじ 1 本を外してペン立てを取り付けます。



バックカバーのねじ 1 本を外します。

### 取り付け

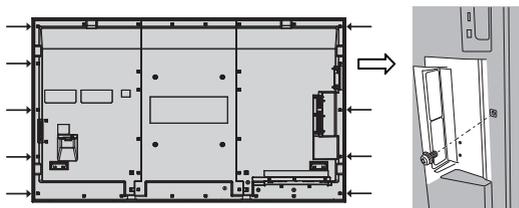
付属のねじ 1 本でペン立てを取り付けます。



## 80V型

付属のペン立ては本体後面の9カ所に取り付けることができます。

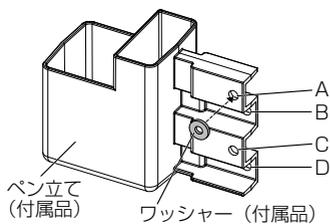
1 バックカバーのビス1本を外します。



2 付属のワッシャーの裏紙をはがします。

3 ペン立てのねじ止め穴1カ所にワッシャーを貼り付けます。

A～Dいずれの穴でもペン立てを固定できます。



4 付属のねじ1本でペン立てを取り付けます。



ペン立てにはペンを2本、黒板消しを1個立てられます。

# 接続

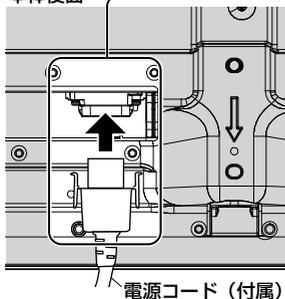
## 電源コードの接続と固定、接続ケーブルの固定

### 50V 型および 65V 型

#### お願い

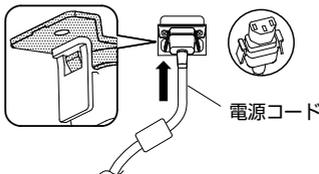
付属の電源コードセットは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

#### 本体後面



電源コード (付属)

#### 電源コードの固定方法



電源コード

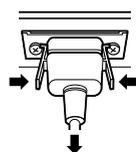
#### お願い

左右のロックが掛かっていることを確認してください

#### コネクターを本体へ差し込む

カチッと音がするまで差し込んでください。

#### 電源コードを外すとき



電源プラグ横のつまみを押しながらかいてください

#### お願い

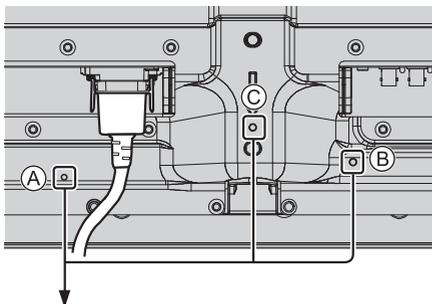
電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

### 壁掛け金具 (垂直取り付け型) で設置するとき (50V 型)

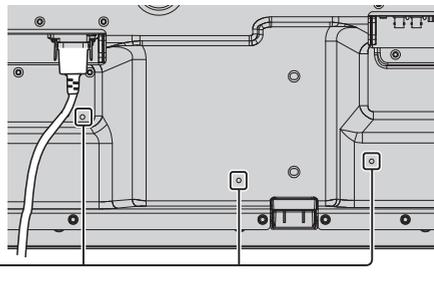
#### お願い

壁掛け金具 (垂直取り付け型) (TY-WK42PV20) をご使用のときは、④および⑤の 2 か所でケーブルを固定してください。⑥の穴にクランパーを取り付けると、壁掛け金具に挟み込むおそれがあります。

#### 50V 型



#### 65V 型

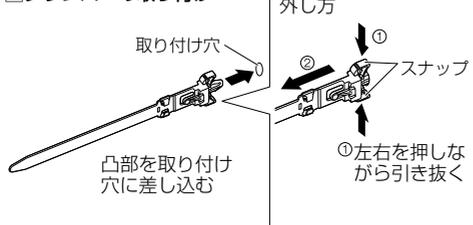


### 接続ケーブルの固定

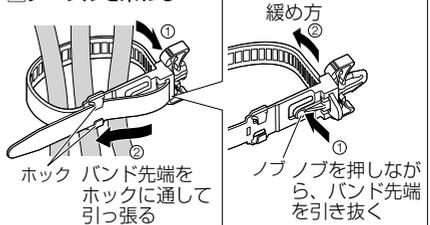
#### お願い

本機はクランパーを 1 本だけ付属しています。ケーブルを 3 か所の穴で固定する場合はクランパーを別途ご用意ください。クランパーをご用意される場合はお買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)

#### ①クランパーの取り付け



#### ②ケーブルを束ねる

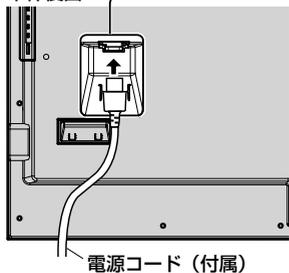


## 80V 型

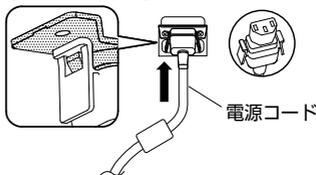
### お願い

付属の電源コードセットは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

本体後面



### 電源コードの固定方法



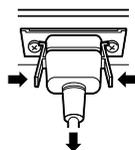
### お願い

左右のロックが掛かっていることを確認してください

**コネクターを本体へ差し込む**

カチッと音がするまで差し込んでください。

### 電源コードを外すとき



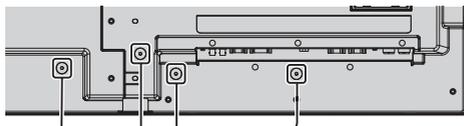
電源プラグ横のつまみを押しながらかいてください

### お願い

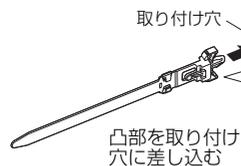
電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

### お願い

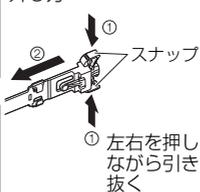
本機はクランパーを 1 本だけ付属しています。ケーブルを 4 ヲ所の穴で固定する場合はクランパーを別途ご用意ください。クランパーをご用意される場合はお買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)



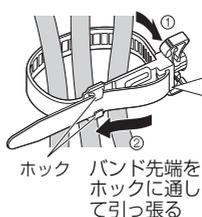
### ①クランパーの取り付け



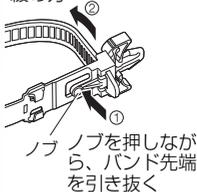
外し方



### ②ケーブルを束ねる



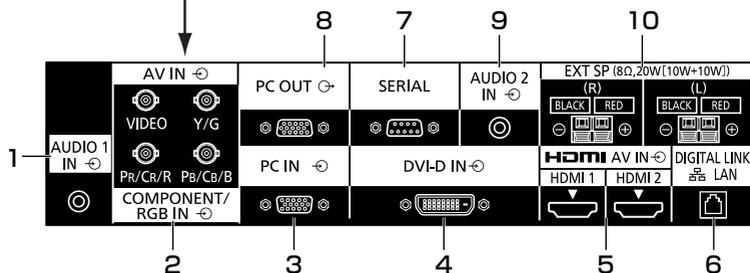
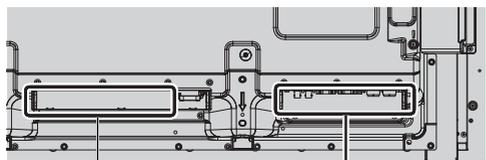
緩め方



# 接続

## 映像機器の接続

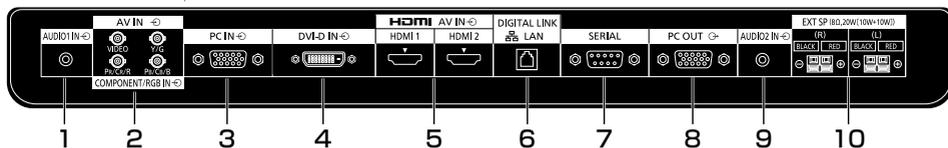
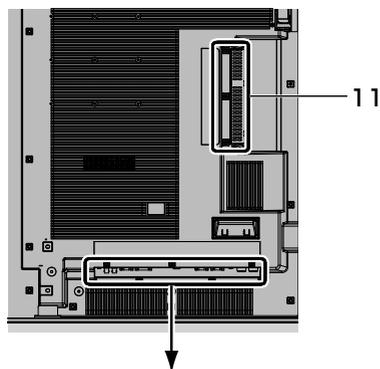
### 50V 型および 65V 型



- 1 **AUDIO 1 IN** : **COMPONENT/RGB IN と VIDEO 共用の音声入力端子**
- 2 **COMPONENT/RGB/VIDEO IN** : **コンポーネント /RGB ビデオ入力端子 (P<sub>R</sub>/C<sub>R</sub>/ R、P<sub>B</sub>/C<sub>B</sub>/B、Y/G)**  
YP<sub>B</sub>P<sub>R</sub>/YC<sub>B</sub>C<sub>R</sub> または RGB 出力のある映像機器を接続します。
- AV IN** : **コンポジットビデオ入力端子 (VIDEO)**  
コンポジット信号出力のある映像機器を接続します。
- 3 **PC IN** : **パソコン入力端子**  
パソコンの映像端子、YP<sub>B</sub>P<sub>R</sub>/YC<sub>B</sub>C<sub>R</sub> または RGB 出力のある映像機器を接続します。
- 4 **DVI-D IN** : **DVI-D 入力端子**  
DVI-D 出力がある映像機器を接続します。
- 5 **AV IN (HDMI 1、HDMI 2)** : **HDMI 入力端子**  
ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像機器を接続します。
- 6 **DIGITAL LINK / LAN** : **DIGITAL LINK 入力端子**  
ネットワークに接続して本機を制御します。または、DIGITAL LINK 端子経由で映像・音声信号を送出する機器を接続します。

- 7 **SERIAL** : **シリアル入力端子**  
パソコンに接続して本機を制御します。
- 8 **PC OUT** : **モニターアウト端子**  
本機に表示している映像信号をパソコンの映像信号として他のサブモニターに出力します。
- 9 **AUDIO 2 IN** : **DVI-D IN と PC IN 共用の音声入力端子**
- 10 **EXT SP** : **スピーカー端子**  
外部スピーカーを接続します。
- 11 **SLOT** : **機能拡張用スロット**  
([P.13](#) ページ)
- お知らせ** 右側のスロットは 2 スロット幅の端子ボード用です。右側に 1 スロット幅のボードを取り付けても動作しません。

## 80V 型



1 AUDIO 1 IN: COMPONENT/RGB IN と VIDEO 共用の音声入力端子

2 COMPONENT/RGB/VIDEO IN: コンポーネント/RGB ビデオ入力端子 (P<sub>R</sub>/C<sub>R</sub>/ R、P<sub>B</sub>/C<sub>B</sub>/B、Y/G) YP<sub>B</sub>P<sub>R</sub>/YC<sub>B</sub>C<sub>R</sub> または RGB 出力のある映像機器を接続します。

AV IN: コンポジットビデオ入力端子 (VIDEO) コンポジット信号出力のある映像機器を接続します。

3 PC IN: パソコン入力端子 パソコンの映像端子、YP<sub>B</sub>P<sub>R</sub>/YC<sub>B</sub>C<sub>R</sub> または RGB 出力のある映像機器を接続します。

4 DVI-D IN: DVI-D 入力端子 DVI-D 出力がある映像機器を接続します。

5 AV IN (HDMI 1、HDMI 2): HDMI 入力端子 ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像機器を接続します。

6 DIGITAL LINK / LAN: DIGITAL LINK 入力端子 ネットワークに接続して本機を制御します。または、DIGITAL LINK 端子経由で映像・音声信号を送出する機器を接続します。

7 SERIAL: シリアル入力端子 パソコンに接続して本機を制御します。

8 PC OUT: モニターアウト端子 本機に表示している映像信号をパソコンの映像信号として他のサブモニターに出力します。

9 AUDIO 2 IN: DVI-D IN と PC IN 共用の音声入力端子

10 EXT SP: スピーカー端子 外部スピーカーを接続します。

11 SLOT: 機能拡張用スロット (参照 13 ページ)

**お知らせ** 上側のスロットは 2 スロット幅の端子ボード用です。上側に 1 スロット幅のボードを取り付けても動作しません。

# 接続

## 接続の前に

- 接続の前に、本機と接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
  - ・ ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
  - ・ 本機と、本機に接続する機器とを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
  - ・ ケーブル接続時は、GND が先に接続されるように、接続する機器の接続端子部にまっすぐに挿入してください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
- プラグ外形が大きな接続ケーブルをご使用になりますと、隣接する接続ケーブルのプラグ部に接触する場合があります。端子配列に適したプラグサイズの接続ケーブルをご使用ください。
- 映像機器からの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 映像出力の設定変更時など、パソコンや映像機器からの出力同期信号に乱れが発生した場合、一時的に映像に色の乱れが発生することがあります。
- 本機に接続できる信号はコンポジットビデオ信号、YCbCr/YPrPb 信号、アナログ RGB 信号、およびデジタル信号です。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を表示できないことがあります。

# 各部の基本説明

## リモコン

### 電源

ディスプレイ本体の電源を入/切します。  
(P.24 ページ)

### 画質の調整 (PICTURE)

### 画面位置/サイズ調整 (POS./SIZE)

### 消音 (MUTE)

音声を一時的に消します。

### 標準 (N)

映像や音声などの調整状態を標準値に戻します。

### 決定 (■)

メニュー画面で項目を決定します。

### 上・下・左・右 (▲・▼・◀・▶)

メニュー画面で項目の選択や設定の切り換え、レベルを調整します。

### 入力切換 (INPUT)

接続された機器の入力に切り換えます。

### ECO モード (ECO)

ECO モードの設定状態を切り換えます。

### 画面モード (ASPECT)

拡大画面を選択します。

### オフタイマー (OFF TIMER)

自動的に電源を切ります。

### 自動位置補正 (AUTO SETUP)

画面の位置/サイズを自動補正します。

### 音声の調整 (SOUND)

### 初期設定 (SET UP)

### 音量 (VOL)

音量を調整します。

### 戻る (R)

映像、音声などの調整画面、各種機能の設定画面を1つ前の状態に戻します。

### 画面表示 (RECALL)

入力モード・画面モードなどの各種設定状態を確認します。

### デジタルズーム (ZOOM)

デジタルズームモードにします。

### FUNCTION ボタン (FUNCTION)

#### お願い

- 本体のリモコン受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

# 各部の基本説明

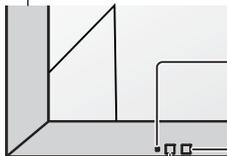
## ディスプレイ本体

## 50V 型および 65V 型

### 前面



タッチパネル赤外線透過部  
前面パネルの4辺に装着しています。



リモコン  
受信部

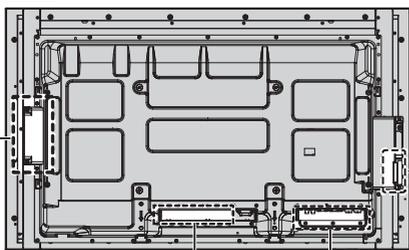
### 電源ランプ

ディスプレイ本体の電源「入」のとき

- 映像表示状態 …………… 青色点灯
- リモコンで「切」(スタンバイ状態) …………… 橙色点灯
- ・ Slot power が「On」で、端子ボードを装着しているとき …………… 紫色点灯
- ・ 装着ボードの種類により、
- ・ スロットに電源供給されるとき …………… 紫色点灯
- ・ ネットワークコントロールが「オン」のとき …………… 紫色点灯
- ・ クイック起動が「オン」のとき …………… 紫色点灯
- ・ 無線ネットワーク待機モードが「オン」のとき …………… 紫色点灯
- HDMI1 パワーマネジメントまたは HDMI2
- ・ パワーマネジメントで電源「切」 …………… 紫色点灯
- PC パワーマネジメントで電源「切」(DPMS 機能) …………… 紫色点灯
- DVI-D パワーマネジメントで電源「切」 …………… 紫色点灯
- ディスプレイ本体の電源「切」のとき …………… 消灯

- 電源が「切」および電源ランプが橙色、無点灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。
- 電源ランプが紫色の場合は橙色の場合に比べて、スタンバイ状態の電力が一般に増加します。
- カラーユニバーサルデザインに配慮して、紫色は、青色に比べて明るく点灯します。  
(☞ 25ページ「カラーユニバーサルデザイン(CUD)とは」)

### 後面



### 明るさセンサー

視環境の明るさを検知します。

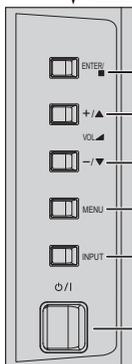
**USB (VIEWER):** USB メモリーを接続します。  
**USB (TOUCH):** 付属の CD-ROM 内の「ホワイトボードソフトウェア」を使用するときに本機とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

**SLOT:** 端子ボード (別売オプション)  
取付用スロット (☞ 13 ページ)

#### お知らせ

右側のスロットは 2 スロット幅の端子ボード用です。右側に 1 スロット幅のボードを取り付けても動作しません。

**外部入力端子** (☞ 18 ページ)  
映像機器やパソコンなどを接続します。



- ENTER** / ■ : メニュー画面で項目を決定します。/画面モードを切り換えます。メニュー画面で設定項目を選択中に ENTER / ■ ボタンを押すと、操作ボタンガイドの▲▼表示が◀▶に切り換わります。
- VOL +/-** / ▲▼ : 音量を調整します。/メニュー画面で項目を選択したり、設定の切り換えやレベルを調整します。
- MENU** : メニュー画面を表示します。
- INPUT** : 接続された機器を選択します。
- 電源 (O/I)** : 電源を「入」・「切」します。

# ディスプレイ本体

80V 型

## 前面



タッチパネル赤外線透過部  
前面パネルの4辺に装着  
しています。

リモコン  
受信部

### 電源ランプ

ディスプレイ本体の電源「入」のとき

- 映像表示状態 …………… 青色点灯
- リモコンで「切」(スタンバイ状態) …………… 橙色点灯
- ・ Slot power が「On」で、端子ボードを装着しているとき …………… 紫色点灯
- ・ 装着ボードの種類により、
- ・ スロットに電源供給されるとき …………… 紫色点灯
- ・ ネットワークコントロールが「オン」のとき …………… 紫色点灯
- ・ クイック起動が「オン」のとき …………… 紫色点灯
- ・ 無線ネットワーク待機モードが「オン」のとき …………… 紫色点灯
- HDMI1 パワーマネージメントまたは HDMI2  
パワーマネージメントで電源「切」 …………… 紫色点灯
- PC パワーマネージメントで電源「切」(DPMS 機能) …………… 紫色点灯
- DVI-D パワーマネージメントで電源「切」 …………… 紫色点灯
- ディスプレイ本体の電源「切」のとき …………… 消灯

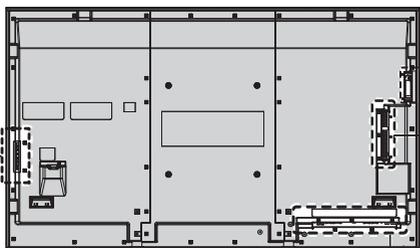
- 電源が「切」および電源ランプが橙色、無点灯の場合  
で一部の回路は通電状態にあります。
- 電源ランプが紫色の場合は橙色の場合に比べて、スタンバイ状態の電力が一般に増加します。
- カラーユニバーサルデザインに配慮して、紫色は、青色に比べて明るく点灯します。

(☞ 25ページ「カラーユニバーサルデザイン(CUD)とは」)

### 明るさセンサー

視認環境の明るさを検知します。

## 後面



**USB (VIEWER):** USB メモリーを接続します。  
**USB (TOUCH):** 付属の CD-ROM 内の「ホワイト  
ボードソフトウェア」を使用する  
ときに本機とコンピューターを  
USB ケーブルで接続します。

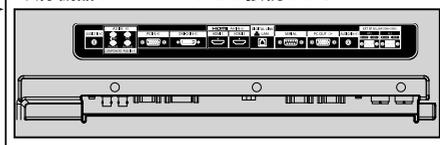
**SLOT:** 端子ボード (別売オプション) 取付用スロット  
(☞ 13 ページ)

### お知らせ

上側のスロットは 2 スロット幅の端子ボード用です。上側に 1 スロット幅のボードを取り付けても動作しません。

### 外部入力端子 (☞ 19 ページ)

映像機器やパソコンなどを接続します。



ENTER

ENTER / ■: メニュー画面で項目を決定します。/ 画面モードを切り換えます。  
メニュー画面で設定項目を選択中に ENTER / ■ ボタンを押すと、操作ボタンガイドの▲▼表示が◀▶に切り換わります。

VOL + / -

VOL ▲▼: 音量を調整します。/ メニュー画面で項目を選択したり、設定の切り換えやレベルを調整します。

MENU

MENU: メニュー画面を表示します。

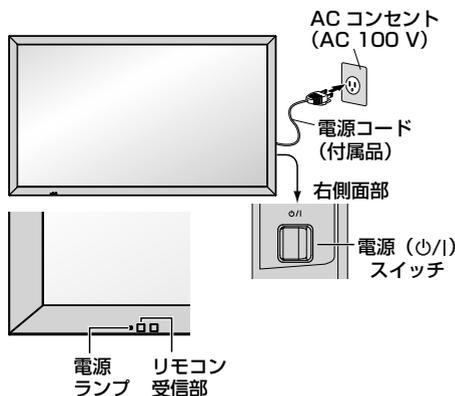
INPUT

INPUT: 接続された機器を選択します。

電源 (ON/OFF)

電源 (ON/OFF): 電源を「入」・「切」します。

# 基本の操作



リモコンはリモコン受光部  
へ向けて操作してください



**電源を入れる**  
本体の電源「入」  
(電源ランプ— 橙色または紫色)  
で押すと受像します。  
**電源を切る**  
電源「入」(電源ランプ— 青色)  
で押すと電源「切」(電源ラ  
ンプ— 橙色または紫色)に  
なります。

## 準備

電源プラグをコンセントへ接続します。  
(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

**お願い** ● 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

## 電源を入れる

本体の電源 (ON/OFF) スイッチを押し電源を「入」にします。

電源ランプが青色に点灯します。

● 本体の電源が「入」のとき、リモコンで操作ができます。

### 【タッチスクリーン・ネットワークの起動】

電源を入れたとき、タッチスクリーンおよびネットワークの起動に時間がかかります。

その間、「初期設定」メニューの「タッチスクリーン設定」および「ネットワーク設定」はグレー表示になり、設定できません。

本機の電源を「入」にした後、しばらくの間、  
下のように画面表示されます。

## 初めて電源を「入」にしたとき

次の画面が表示されます。  
リモコンで設定してください。本体のボタンやマルチタッチ操作では設定できません。

### お知らせ

これらの画面は一度設定すると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。

必要に応じて、次のメニューで設定してください。

表示言語切換

現在時刻設定

表示言語切換

- ① ご利用の言語を選択し、
- ② 決定する。



現在時刻設定

- ① 「曜日」または「現在時刻」を選択する。
- ② 設定する。



- ① 「設定」を選択する。
- ② 決定する。



## 電源「入」時のメッセージ

本機の電源を「入」にしたとき、次のメッセージが表示される場合があります。

### WhiteBoard 起動画面



入力切替が「WHITEBOARD」で電源を入れると内蔵ホワイトボードが起動します。他にも、入力に応じて次の起動画面が表示されます。

MIRRORING  
MEMORY VIEWER

### タッチスクリーン接続状態の表示

コンピューターと USB 接続していない場合

タッチスクリーンを検出中です。



タッチスクリーンを検出しました。

本メッセージ表示後、ディスプレイ本体のタッチ操作が可能になります。

コンピューターと USB 接続している場合

タッチスクリーンは外部機器に接続されています。

### 無操作自動オフ警告メッセージ

無操作自動オフ機能が有効です。

「初期設定」メニューの「無操作自動オフ」を「有効」に設定した場合、電源を入れたときに警告メッセージが表示されます。

### パワーマネジメントお知らせメッセージ

パワーマネジメントが働きました。

「パワーマネジメント」が働いた場合、電源を入れたときにお知らせメッセージが表示されます。

これらのメッセージは、次のメニューで設定できます。

「Options」メニュー

- Power on message (No activity power off)
- Power on message (Power management)

### カラーユニバーサルデザインお知らせメッセージ

カラーユニバーサルデザインが有効です。

「初期設定」メニューの「カラーユニバーサルデザイン」が「オン」に設定されている時にお知らせメッセージが表示されます。

### カラーユニバーサルデザイン (CUD) とは

色の見え方が一般と異なる（先天的な色弱、加齢による白内障、緑内障など）人にも情報がきちんと伝わるよう、色使いに配慮したデザインを言います。

この製品は、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られており、本体前面部にCUDマークを表示しています。

### CUD マーク



このマークは、色覚の個人差を問わずできるだけ多くの人々に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られたこと、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構が認証した印刷物、製品等に表示できるマークです。

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 修理を依頼されるとき

「ディスプレイ編」100ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料**は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代**は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料**は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

### ■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。  
よくお読みのあと、保存してください。

**保証期間：お買い上げ日から本体1年間**

### ■補修用性能部品の保有期間

当社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号

製品名・品番・お買い上げ日

故障または異常の内容

訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付：9時～17時30分  
(土・日・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

### ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

# 仕様

	品番	TH-80BF1J (80V型) *		
	種類	ハイビジョン液晶ディスプレイ		
	使用電源	AC100 V ±10 % 50 Hz / 60 Hz		
	消費電力	350 W		
		本体電源「切」時 約0.3 W リモコンで電源「切」時 約0.5 W		
	音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA		
	スピーカー	フルレンジ: 12 cm×4 cm 2個		
	液晶ディスプレイパネル	VAパネル (LEDバックライト) 80V型* (アスペクト比16:9)		
	画面寸法	幅 177.1 cm 高さ 99.6 cm 対角 203.2 cm		
	画素数	2,073,600画素 (水平1,920×垂直1,080) [ドット数5,760×1,080]		
	動作使用条件	温度: 0℃～40℃ 湿度: 20%～80% (結露のないこと)		
本	ビデオ入力端子 AV IN	VIDEO AUDIO 1 IN	BNC端子 1.0 V [p-p] (75 Ω) M3ジャック×1 0.5 V [rms] COMPONENT/RGB IN と共用	
	HDMI入力端子 HDMI1・HDMI2	TYPE Aコネクター×2		
	コンポーネント ビデオ/ RGB入力端子 COMPONENT/RGB IN	Y/G	BNC端子 1.0 V [p-p] (75 Ω)	同期信号を含む
		P <sub>B</sub> /C <sub>B</sub> /B P <sub>R</sub> /C <sub>R</sub> /R	BNC端子 0.7 V [p-p] (75 Ω) BNC端子 0.7 V [p-p] (75 Ω)	
	デジタルRGB入力端子 DVI-D IN	COMPONENT/RGB IN	BNC端子 0.7 V [p-p] (75 Ω) M3ジャック×1 0.5 V [rms]	VIDEO と共用
		AUDIO 1 IN	M3ジャック×1 0.5 V [rms]	VIDEO と共用
	パソコン入力端子 PC IN	DVI-D 24ピン	DVI Revision 1.0 準拠	HDCP 1.1 対応
		DVI-D IN	AUDIO 2 IN	M3ジャック×1 0.5 V [rms] PC IN と共用
	体	シリアル端子 SERIAL	ミニD-sub 15ピン SXGA対応: マルチスキャン方式 (DDC2B対応) *対応周波数: 水平15 kHz～110 kHz 垂直48 Hz～120 Hz (但し表示ドット数が水平あるいは、垂直画素数を超える信号は簡易表示)	
			Y/G	1.0 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含む 0.7 V [p-p] (75 Ω) 非同期信号時
モニターアウト端子 PC OUT		P <sub>B</sub> /C <sub>B</sub> /B	0.7 V [p-p] (75 Ω)	
		P <sub>R</sub> /C <sub>R</sub> /R	0.7 V [p-p] (75 Ω)	
USBメモリー端子 USB (VIEWER)		HD/VD	TTLハイインピーダンス 正極性/負極性(自動対応)	
		AUDIO 2 IN	M3ジャック×1 0.5 V [rms]	DVI-D IN と共用
USBメモリー端子 USB (VIEWER)		外部制御用端子 D-sub 9ピンRS-232C準拠		
		R	0.7 V [p-p] (75 Ω)	
USBメモリー端子 USB (VIEWER)		G	0.7 V [p-p] (75 Ω)	
		B	0.7 V [p-p] (75 Ω)	
USBメモリー端子 USB (TOUCH)	HD/VD	3.5～5.0 V [p-p]		
	USBコネクター TYPE A			
USBコネクター TYPE B				
DIGITAL LINK端子 DIGITAL LINK, LAN	RJ45 ネットワーク接続用、DIGITAL LINK接続用、PJLink™対応 通信方式: RJ45 100BASE-TX			
外部スピーカー端子 EXT SP	8 Ω、20 W [10 W + 10 W] (10% THD)			
外形寸法	幅 186.8 cm 高さ 109.3 cm 奥行 10.4 cm			
質量	約 81.0 kg			
キャビネット材質	前面: 金属、バックカバー: 樹脂			
リモコン	品番	N2QAYB000691		
	使用電源	DC 3 V (単3形乾電池2個)		
	操作距離	約 7 m以内 (液晶ディスプレイ正面距離)		
	使用範囲	受信部左右: 30°以内、受信部上下: 20°以内		
	質量	約 100 g (乾電池含む)		

※ ディスプレイのV型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。  
本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。  
(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

# 仕様

品番		TH-65BF1J (65V型) *	TH-50BF1J (50V型) *	
種類	ハイビジョン液晶ディスプレイ			
使用電源	AC100 V ± 10 % 50 Hz / 60 Hz			
消費電力	215 W		140 W	
	本体電源「切」時 約 0.3 W リモコンで電源「切」時 約 0.5 W			
音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA			
スピーカー	フルレンジ: 12 cm × 4 cm 2個			
液晶	VAパネル (LEDバックライト)			
ディスプレイパネル	65V型* (アスペクト比16:9)		50V型* (アスペクト比16:9)	
画面寸法	幅 142.8 cm 高さ 80.3 cm 対角 163.8 cm		幅 109.5 cm 高さ 61.6 cm 対角 125.7 cm	
画素数	2,073,600画素 (水平1,920×垂直1,080) [ドット数5,760×1,080]			
動作使用条件	温度: 0 °C ~ 40 °C 湿度: 20 % ~ 80 % (結露のないこと)			
本体	ビデオ入力端子 AV IN	VIDEO AUDIO 1 IN	BNC端子 1.0 V [p-p] (75 Ω) M3ジャック×1 0.5 V [rms] COMPONENT/RGB IN と共用	
	HDMI入力端子 HDMI1・HDMI2	TYPE Aコネクター×2		
	コンポーネント ビデオ/ RGB入力端子 COMPONENT/RGB IN	Y/G P <sub>B</sub> /C <sub>B</sub> /B P <sub>R</sub> /C <sub>R</sub> /R AUDIO 1 IN	BNC端子 1.0 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含む BNC端子 0.7 V [p-p] (75 Ω) BNC端子 0.7 V [p-p] (75 Ω) M3ジャック×1 0.5 V [rms] VIDEO と共用	
	デジタルRGB入力端子 DVI-D IN	DVI-D 24ピン AUDIO 2 IN	DVI Revision 1.0準拠 HDCP 1.1対応 M3ジャック×1 0.5 V [rms] PC IN と共用	
	パソコン入力端子 PC IN	ミニD-sub 15ピン SXGA対応: マルチスキャン方式 (DDC2B対応) *対応周波数: 水平15 kHz ~ 110 kHz 垂直48 Hz ~ 120 Hz (但し表示ドット数が水平あるいは、垂直画素数を超える信号は簡易表示)		
		Y/G P <sub>B</sub> /C <sub>B</sub> /B P <sub>R</sub> /C <sub>R</sub> /R HD/VD AUDIO 2 IN	1.0 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含む 0.7 V [p-p] (75 Ω) 非同期信号時 0.7 V [p-p] (75 Ω) 0.7 V [p-p] (75 Ω) TTLハイインピーダンス 正極性/負極性(自動対応) M3ジャック×1 0.5 V [rms] DVI-D IN と共用	
	シリアル端子 SERIAL	外部制御用端子 D-sub 9ピン	RS-232C準拠	
	モニターアウト端子 PC OUT	R G B HD/VD	0.7 V [p-p] (75 Ω) 0.7 V [p-p] (75 Ω) 0.7 V [p-p] (75 Ω) 3.5 ~ 5.0 V [p-p]	
	USBメモリー端子 USB (VIEWER)	USBコネクター TYPE A		
	パソコン接続端子 USB (TOUCH)	USBコネクター TYPE B		
	DIGITAL LINK端子 DIGITAL LINK LAN	RJ45 ネットワーク接続用、DIGITAL LINK接続用、PULink™対応 通信方式: RJ45 100BASE-TX		
	外部スピーカー端子 EXT SP	8 Ω、20 W [10 W + 10 W] (10 % THD)		
	外形寸法	幅 151.7 cm 高さ 89.2 cm 奥行 10.8 cm	幅 118.5 cm 高さ 70.5 cm 奥行 10.4 cm	
	質量	約 58.0 kg	約 34.0 kg	
	キャビネット材質	金属 (前面、バックカバー)		
	リモコン	品番	N2QAYB000691	
		使用電源	DC 3 V (単3形乾電池2個)	
操作距離		約 7 m以内 (液晶ディスプレイ正面距離)		
使用範囲		受信部左右: 30°以内、受信部上下: 20°以内		
質量		約 100 g (乾電池含む)		

\* ディスプレイのV型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。  
本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。  
(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

# ソフトウェアライセンス

## 当製品に関するソフトウェア情報

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、付属の CD-ROM に含まれるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも 3 年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読み取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します

問い合わせ窓口 (E メール) : [oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com](mailto:oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com)

本製品は、AVC Patent Portfolio License、VC-1 Patent Portfolio License 及び MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格、VC-1 規格及び MPEG-4 Visual 規格に準拠して (以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ) 記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

# 商標について

---

- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国および他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- RoomView、Crestron RoomView は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。Crestron Connected™、Fusion RV は Crestron Electronics, Inc. の商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Direct™、Miracast™ は、Wi-Fi Alliance の商標です。
- Windows、Windows Vista、Internet Explorer、PowerPoint、Microsoft Word、Microsoft Excel は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OS、OS X、iPad、iPhone、iPod touch、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Android は、Google Inc. の商標です。
- Adobe、Adobe Flash Player、Adobe Reader は、アドビシステムズ社の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- Intel® は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



**■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報**



これらのシンボルマークは EU 域内のみ有効です。  
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



EU



**注意**

この製品はクラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

<b>便利メモ</b> おぼえのため記入 されると便利です。	<b>お買い上げ日</b>	年 月 日	<b>品番</b>	
	<b>販売店名</b>	☎ ( ) -	<b>お客様ご相談窓口</b>	
		☎ ( ) -	☎ ( ) -	

**パナソニック株式会社**  
**AVCネットワークス社**

〒571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号

© Panasonic Corporation 2016

TIO316TS1046 -PB

中国印刷